

申請書記入上の注意

申請書裏面「4. 学費等生活費に係る年間収支見込み」欄の記入について

4. 学費等生活費に係る年間収支見込み

※以下に記載した金額等が収入証明書と一致しない場合、証明書類の数値を基に選考を行うことがあります。
 ※合計する際に、1万円未満を切り捨てて記入してください。

●2022年支出見込み金額

支出項目	金額
入学金	(ア) 万円
授業料	(イ) 56.3 万円
施設費等諸費	(ウ) 万円
通学費・図書費等	(エ) 万円
食費	(オ) 万円
居住費	(カ) 万円
光熱費・水道代・通信料等	(キ) 万円
その他費用	(ク) 万円
合計	万円

●2022年収入見込み金額

収入項目	金額
学生本人の経常的(定職)収入	万円
学生本人のアルバイト収入	万円
父母からの給付	万円
配偶者からの給付	(ニ) 万円
父母・配偶者以外からの給付	(え) 万円
預貯金から取り崩しする金額	(お) 万円
奨学金(給付)	(か) 万円
奨学金(貸与)	(き) 万円
合計	万円

各種収入金額記入欄

(家計状況に関する証明書類に基づく、2022年1月～12月の収入見込み金額)

	給付金額	借入金金額	所得金額
本人	(あ) 万円	(い) 万円	(う) 万円
父	(あ) 万円	(い) 万円	(う) 万円
母	(あ) 万円	(い) 万円	(う) 万円
配偶者	(あ) 万円	(い) 万円	(う) 万円

支出額 ≤ 収入額であることを確認!! (III)

以下、記入の必要がある方のみ記入してください

5. 年額算定に必要な金額・計算式等 ★該当者のみ★

配付書類5「提出書類詳細プリント」において、(く)～(し)の記入が必要な書類を提出する場合は、説明に従い以下の欄に必要な金額等を記入してください。

(く) 収入状態①: 平均月収から年額を推算(総支給額から非課税の交通費除く) (II)

()月	()月	()月	平均月収	年間収入金額	直近3か月の書類を出すことができない理由
円	(く) 円	円	円 × $\frac{15}{12}$ =	円	

(け) 収入状態②: 平均収入・所得から年額を推算

収入(3か月)	必要経費(3か月)	所得(3か月)	年間収入・売上	年間所得
円	(け) 円	円	円	円

(こ) 収入状態③: 2022年給付予定額を推算

基本手当日額	所定給付日数	2021年12月以前の受給額	年間給付予定額
円 ×	(こ) 日	円	円

(さ) 収入状態④: 月額から年額を推算

月額	年間給付予定額
(さ) 円 × 12 =	円

(し) 収入状態⑤: 傷病手当金の支給金額から年額を推算

支給金額	支給日数	年間給付予定額
円 ÷	(し) 日 × 365 =	円

6. (す) 収入に関する事情 ★該当者のみ★

配付書類6「提出書類詳細プリント」において、(す)の記入が必要な書類を提出する場合は、説明に従い以下の欄に必要な金額等を記入してください。

(す)

続柄

記入者氏名 _____ 印 _____ ()

(I) 2022年支出見込み金額の記入欄について

2022年1～12月に支出が見込まれる金額を項目ごとにそれぞれ記入し、合計額を算出してください。

(1万円未満切捨) 支出が見込まれない項目については「0」と記入してください。

なお、採用後に実際の支出金額を面談等で確認する場合があります。

- (ア) いずれの研究科も25万円です。「25」と記入してください。
ただし、在籍者および2022年度入学予定の内部進学者は「0」と記入してください。
- (イ) 授業料はいずれの研究科も56.3万円です。
- (ウ) 施設費等諸費は以下の通りです。

文学,法学, 経営学	経済学	社会福祉学	地球環境科学	心理学
12.3万	(2017年以前入学)	15.5万	(環境システム)	(2019年以前入学)
	12.3万		29.5万	19.0万
	(2018年以降入学)		(地理空間システム)	(2020年以降入学)
	15.0万		21.5万	22.0万

- (エ) 見込み金額を合算して記入してください。
- (オ) 自宅通学(実家暮らし)の場合は、自宅に食費として支払っている額や、外食等での見込みの額を記入してください。【例: 2(万円/月) × 12(か月) = 24(万円)】
- (カ) 契約等が済んでいない場合は、予定の見込み金額を算出・記入してください。また、自宅通学(実家暮らし)であっても、毎月所定の額を自宅に支払っている場合は、その金額を記入してください。
- (キ) 自宅通学(実家暮らし)の場合は、かかるものだけ見込み金額を記入してください。
- (ク) 交際費や次年度学費への積立金等、(ア)～(キ)に該当しないものをすべて合算して記入してください。

(II) 2022年収入見込み金額の記入欄について

1. 配付書類④「2022年度 院橋経済支援奨学生 提出書類チェックシート」(以下、チェックシート)を記入してください。(チェックしたものを大学に提出します。)

チェックシートの(1): 特別控除に関する質問

設問すべてに対し「はい」か「いいえ」に○をご記入ください。

チェックシートの(2)(3): 収入に関する質問

7項目のうち当てはまる項目の【 】内に○をご記入ください。

なお、回答欄右側の「提出書類」欄に「P.●《～～》で該当する書類」と記載があった場合は、

P.2～3の該当箇所についてもご回答ください。

2. 配付書類⑤「2022年度 院橋経済支援奨学生 提出書類詳細」(以下、詳細プリント)をご確認ください。チェックシート「提出書類」欄のアルファベットに対応する書類を**すべて**ご用意ください(大学に提出します)。ご用意いただいた書類に基づき、詳細プリント「申請書に記入する金額」欄の金額を算出してください。

3. 「2022年度 院橋経済支援奨学生 申請書」裏面(あ)～(す)に上記2で算出した金額を記入してください。

もし同じ欄に複数の収入を記入しなければならない場合は、金額を合算して記入してください。

(か)には、今回の大学院橋経済支援奨学金の金額は記入しないでください。

※2021年の収入状態から2022年の収入を推定します。具体的な収入金額が不明なもの(入学後はアルバイトを始める予定)などは、「0円」と記入してください。

(Ⅲ) 支出額≦収入額であることの確認について

(Ⅰ) で記入した支出見込みの合計金額が、(Ⅱ) で記入した 2022 年で記入した収入見込みの合計金額を超えないようご注意ください。もし支出が収入を上回った場合は、(Ⅰ) および (Ⅱ) の金額を見直してください。

以上